

2020 年度事業計画

1. 図書館事業

1. 収集

- ① 寄贈・寄託資料の受入
- ② 資料の購入（雑誌欠号補充ほか）
- ③ 寄贈・寄託事務規定等整備

2. 整理

- ① 寄贈・寄託および購入資料の整理
 - 図書 大手出版社新刊ほか出版社・個人寄贈書
曾根博義文庫（継続 2020 年 2 月末現在 720 冊登録済）
青木鐵夫収集藤枝静男コレクション（継続）
瓜生鐵二文庫
山川方夫文庫 ほか 計約 4,000 冊
 - 雑誌 出版社寄贈新刊、同人誌、会報、紀要
購入雑誌（主に欠号補充）
紅野敏郎文庫（継続 2020 年 2 月末現在 累計 10,955 冊）
高見順文庫・社会文庫・美土路昌一コレクション（追加・未整理分）
日本文学振興会寄贈同人誌 ほか 計約 10,000 点
 - 特別資料 <登録予定>
伊藤整文庫（継続）
片山敏彦文庫書簡・日記（継続 2020 年 2 月末現在 文庫累計 3,436 点）
昭和戦前期プロレタリア文化運動資料
澤木欣一・細見綾子資料（継続）
井東憲資料
紅野敏郎文庫（継続） ほか 計約 3,000 点
<整備・登録準備 継続>
志賀直哉コレクション
- ② 図書・特別資料の廻り入れ
 - 図書 一般書架配架の作品、全集正本
 - 特別資料 文庫・コレクションを中心に（継続）
- ③ 特別資料のデジタル画像化

3. 閲覧・公開

- ① 駒場本館 休館日＝日曜、祝日以外の月曜、月曜祝日の翌火曜（または月曜を含む連休の翌日）、第 4 木曜、年末年始、特別整理期間
成田分館 開館日＝毎月第 1、第 3 土曜日（12 月の第 3 土曜日、年始を除く）

② 資料複写、資料写真サービス

視聴覚資料を閲覧室の専用コーナーで順次公開する。

4. 出品等協力

<企画展示の貸出し>

北海道文学館「生誕 110 年太宰治展—創作の舞台裏」6月20日(土)～8月6日(木)予定
姫路文学館「樋口一葉 その文学と生涯」10月3日(土)～11月23日(月・祝)

<その他>

5. 特別整理期間

6月16日(火)～20日(土) / 2021年2月16日(火)～20日(土)
(電動式集密書架の改修工事に伴う書架移動作業、書架調整ほか)

6. 図書資料委員会

7. 志賀直哉コレクション研究委員会

2. 展覧会事業

1. 2020 年度春季展示「日本をゆさぶった翻訳—明治から現代まで」

会期：2020年4月4日(土)～6月13日(土)

編集委員：高橋修、武藤康史

部門構成：Ⅰ 冒険小説の時代

Ⅱ 異境のしらべ

Ⅲ 火の洗礼—ドストエフスキー『罪と罰』

Ⅳ 社会思想の翻訳—関東大震災前後

Ⅴ 世界文学への一歩

小コーナー

(1) エスペラント—世界と繋がる試み

(2) ボーダーレスの文学—国境と言語を超えて

図録を作成 (B5判 32 ページ、頒価 660 円)

川端康成記念室＝「川端康成の新聞小説」を同時開催

2. 夏季企画展 「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅳ

—夏目漱石『こころ』とその時代」

会期：6月27日(土)～9月19日(土)

編集委員：安藤宏・中島国彦

*7月(日未定)、関連講座「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして—

3. 秋季特別展 「生誕 135 年中里介山展」(仮題)

会期：9月26日(土)～11月28日(土)

編集委員：紅野謙介

川端康成記念室＝「川端康成と『文藝時代』の人々」を同時開催

4. 冬季企画展 本の装幀・雑誌の口絵・挿絵をテーマに(詳細未定)

会期：12月5日(土)～2021年2月13日(土)(一部は3月27日まで)

編集委員：安藤宏・出口智之

5. 全国文学館協議会共同展示「3.11 文学館からのメッセージ」

会期：2021年2月23日(火)～3月27日(土)

3. 講座・講演会事業

1. 文学館へ行こう！

主に大学生・大学院生を対象とする文学館利用案内講座。春秋各2回、定員各回30名程度。

2. 資料は語る 資料で読む「東京文学誌」Ⅲ

前期：3回=4月・5月第3土曜日、6月第2土曜日／

後期：3回=9～11月、各第3土曜日、定員各回40名

第1回 4月18日 南明日香：永井荷風「日和下駄」

第2回 5月16日 庄司達也：芥川龍之介「雛」の銀座「煉瓦通り」

—「紺珠十篇の中」という懐かしいお話から小説へ

第3回 6月13日 中島国彦：夏目漱石—作品に描かれた東京市外

第4回 9月19日 林廣親：木下杢太郎『食後の唄』を読む

—〈パンの会〉の青春東京地誌

第5回 10月17日 井上隆史：三島由紀夫『鏡子の家』の東京、そしてニューヨーク

第6回 11月21日 金井景子：浅草文芸への誘い—川端康成『浅草紅団』と

タウン誌「月刊浅草」を結ぶ点と線

3. 声のライブラリー（石橋財団助成事業）

5月9日、9月12日、11月14日、2021年2月13日の各土曜日 定員各回80名
文学者の自作朗読と座談会。会の模様をビデオに収録し視聴覚資料の充実をはかる。

4. 「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして

7月（日未定）開催

夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅳ—夏目漱石『こころ』とその時代」
にあわせ、中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法（ミニレクチャー）や意見交
換会（定員60名）、書庫見学（定員30名）を行う。

5. 第57回夏の文学教室

「東京・TOKYO 東京をめぐる物語 part 3」（仮題）

読売新聞社後援、8月17日（月）～8月22日（土）、有楽町・よみうりホール

6. 文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理

8月25日（火）～29日（土）、館ホール、午前10時～午後5時10分（1日4コマ、
計20コマ30時間、2単位）

7. 文学館職員研修講座

2021年1月下旬の3日間（日未定）

4. 刊行事業

1. 「文学者の手紙」

館編、博文館新社発行、「日本近代文学館資料叢書」第Ⅱ期
第8回配本別巻『写真アルバム』（編集翻刻・池内輝雄、紅野敏郎、曾根博義、十川信介）
の準備（本文校了済、博文館新社で製作進行中）。

2. 紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第16号

2021年3月刊行予定

3. 『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版

公益社団法人日本文藝家協会創立 100 周年、当館創立 55 周年・開館 50 周年記念事業として、2021 年秋 JapanKnowledge Lib からの公開開始をめざし、データベース作成、校正・改訂作業、増補項目 100 件と新規立項項目 100 件の原稿依頼に着手する。

4. 『教科書と文学』

館編、秀明大学出版会発行、2020 年 6 月刊行予定

2017 年～2020 年の夏季企画展（「教科書のなかの文学／教室のそとの文学」Ⅰ芥川龍之介「羅生門」、Ⅱ中島敦「山月記」、Ⅲ森鷗外「舞姫」、Ⅳ夏目漱石「こころ」とその時代）をもとに、展示物の図版とキャプションを中心に書籍を製作する。

5. 運営審議会

・6 月 27 日（土）、2020 年度運営審議会開催予定

6. 全国文学館協議会

・6 月 17 日（水）、幹事会、2020 年度総会

7. 広報

・館報 「日本近代文学館」 を続刊

8. 設備改修工事

電動式集密書架の改修：2020 年度は G 単位の改修を実施。

見積金額 14,738,603 円（税込）＝2019 年度修繕引当金を取崩して充当

（2015 年 3 月理事会で承認された電動集密書架等長期修繕計画にもとづき、2015～2021 年の 7 年間にわたり 7 区画を順次改修する）

その他

・石橋財団から、斬新な企画があれば助成したいので、提案してほしい、とのお申し出を受けております（「声のライブラリー」助成も継続）。